

2019年3月期 第1四半期
決算補足説明資料

2018年8月13日

株式会社レアジョブ

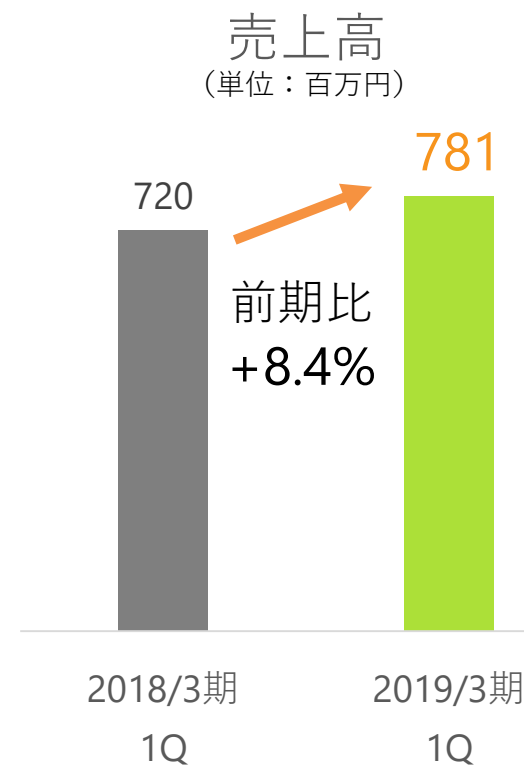
1. 2019年3月期 第1四半期 実績概要
 2. 2019年3月期 計画
- Appendix 会社概要など

1. 2019年3月期 第1四半期 実績概要

前年同期比で増収減益。計画に対し順調に進捗

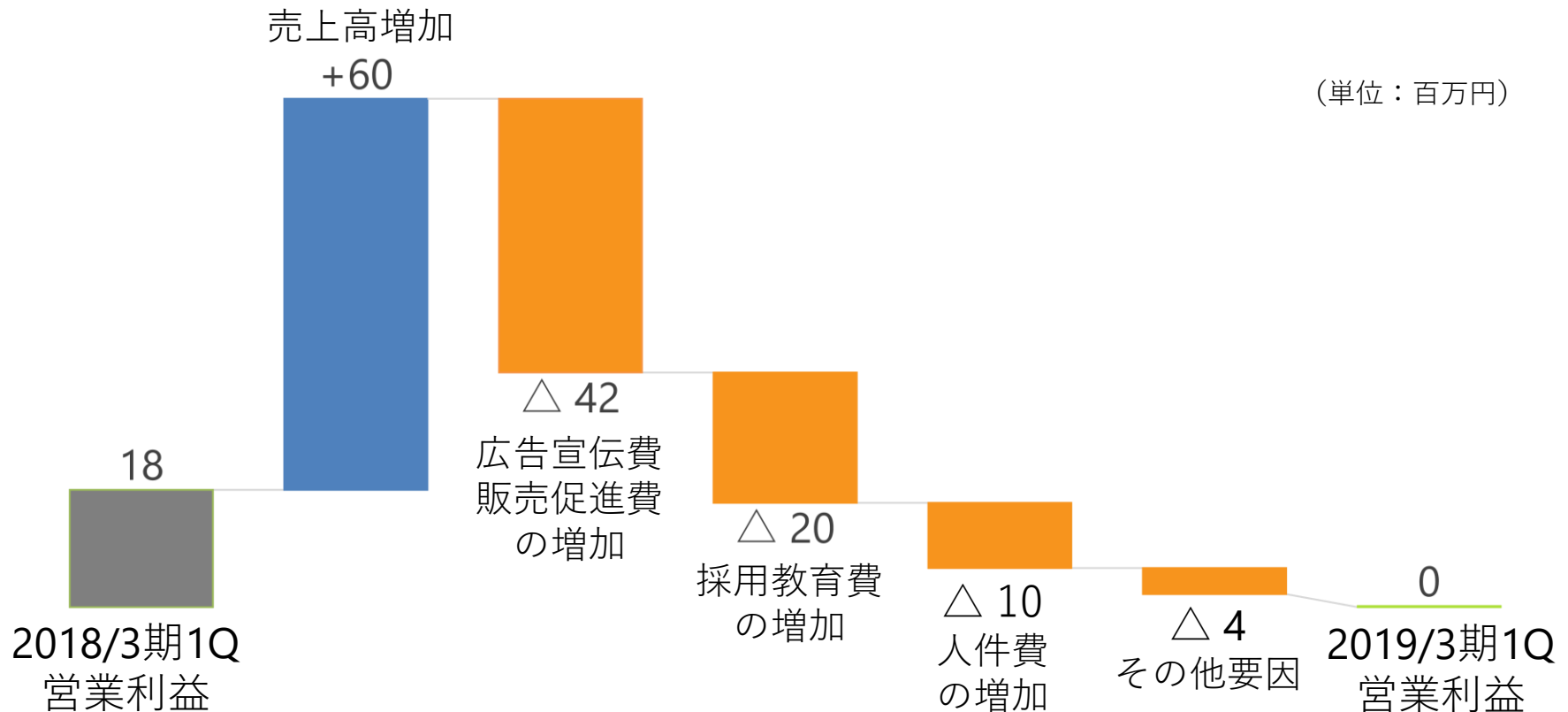
- レアジョブ英会話の売上が、昨年11月のブラジル事業撤退に伴う売上減を上回って増加し、前期比で増収
売上高は四半期ベースで過去最高
- 利益面では中長期的な成長に向けた先行投資を行っており減益

(単位：百万円)	2018年3月期 第1四半期 実績	2019年3月期 第1四半期 実績	前期比 増減率
売上高	720	781	+8.4%
営業利益	18	0	△ 94.8%
経常利益	13	4	△ 63.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6	0	△ 88.2%



中長期的な成長に向けた先行投資により減益

- 前期比で広告の投下を増やしたため広告宣伝費が増加したものの、ブラジル事業撤退に伴う売上減を上回って売上高が増加
- 積極的な採用活動により人件費及び採用教育費が増加



第1四半期において財務状態に大きな変動はなく、自己資本比率は54.4%と前期末からほぼ横ばい

(単位：百万円)

資産	2018年3月末	2018年6月末	増減
流動資産	1,470	1,443	△ 27
固定資産	719	750	+31
資産合計	2,190	2,193	+3

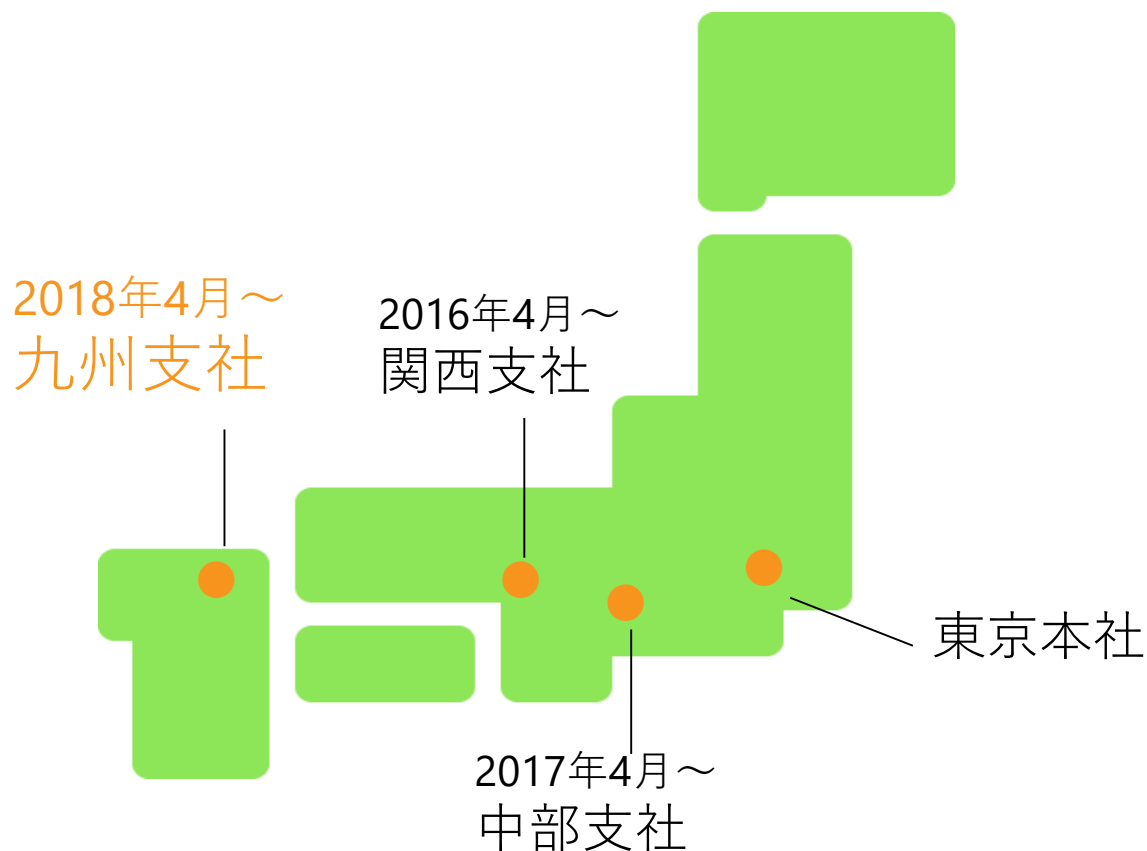
負債・純資産	2018年3月末	2018年6月末	増減
負債	1,021	996	△ 24
純資産	1,168	1,196	+27
負債・純資産合計	2,190	2,193	+3

自己資本比率	53.2%	54.4%	+1.2pt
--------	-------	-------	--------

* 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等を適用後の表示（2018年3月末は遡って適用）

九州支社を設立し、営業体制を強化

- 2018年4月に九州支社を設立し、営業体制を強化。全国4拠点体制に



独自の英会話指導法「スマートメソッド™」を開発* 短期で効率的に英語を話せるようにするサービスへ

- 言語能力の国際指標「CEFR」「CEFR-J」をもとに
受講者それぞれに合ったアダプティブな指導を行う独自の英会話指導法
「スマートメソッド™」を開発
- 日本初のオンライン完結 成果保証型英会話プログラム
レアジョブ英会話「スマートメソッド™コース」を10月から開始予定**



監修

東京外国語大学大学院
総合国際学研究院
投野 由紀夫 教授

* 「SMART Method (スマートメソッド)™」は、現在商標出願中

** オンライン完結型でスピーキング力を指標にした成果保証型サービスとして日本初

全国4拠点で営業体制を強化し、導入を拡大

- 累計導入企業数は前年比1.4倍の1,943社に増加
- 新サービス「おもてなし英語対応パッケージ【鉄道編】」提供開始

累計導入企業数

(単位：社)



導入企業事例



2020年の教育改革に向けて、新サービスを開発

- 2020年の教育改革に向けて大きく変化する市場環境を捉え、英検®対策ライティング添削サービスを開始
- 導入学校数は着実に増加し、191校に拡大

導入事例

北海道夕張高等学校（道立）



授業の中でクラスの全生徒へ
マンツーマンレッスンを同時提供

累計導入学校数

(単位：校)



導入学校・自治体様例

佐賀県上峰町、北海道夕張市
東京大学大学院、聖光学院中学校高等学校
豊島岡女子学園中学校、同志社中学・高等学校
静岡県立静岡城北高等学校など

2. 2019年3月期 計画

創業以来11期連続の増収を計画

- 売上拡大に注力し、創業以来11期連続増収の連結売上高35億円を計画
売上高成長率は2018年3月期の+14.8%を上回る+17.9%を見込む
- 長期的な業績拡大のための積極投資を継続
- 現状では計画通りに進捗。5月14日公表の計画から変更なし

(単位：百万円)	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	前期比 増減率	2019年3月期 1Q累計	進捗率
	売上高	2,968	3,500	+17.9%	781
営業利益	130	50	△ 61.6%	0	1.9%
経常利益	90	30	△ 66.7%	4	16.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	42	0	△ 100.0%	0	-

販売体制を強化し、売上拡大に注力しつつも、 長期的な成長に向けたサービス開発や品質向上へ

レアジョブ英会話

教材の改定や講師トレーニングの強化による品質向上
レッスン供給センターの稼働率を高め、収益性の改善

個人

ユーザー体験の改善や、マーケティングの強化による会員獲得
新機能「レッスンルーム」対象会員の拡大による利便性向上

法人

九州支社を設立、営業体制の強化
成果保証型サービスの提供開始

教育機関

提携先のZ会グループ等との連携を強化
ライティング添削等の新サービス提供開始

本気塾

短期集中プログラムのサービス品質向上
多店舗展開を見据えた事業基盤の構築

どうすれば、

誰もが英語を話せるようになるか
を引き続き追求し、
サービスミッションである

**「日本人1,000万人を
英語が話せるようにする。」**

の達成を目指します

Appendix 会社概要など

- 会社概要
- 当社の目指す英語教育
- 業界環境

株式会社 レアジョブ



グループビジョン

Chances for everyone, everywhere.

サービスミッション

日本人1,000万人を英語が話せるようにする。

会社概要

設立 2007年10月18日
資本金 565,322千円（2018年6月末現在）
所在地 東京都渋谷区神宮前6-27-8 京セラ原宿ビル2F
事業所 東京本社 関西支社 中部支社 九州支社

連結子会社

RareJob Philippines, Inc.
ENVIZION PHILIPPINES, INC.
GOLA English Tutorial Inc.
株式会社リップル・キッズパーク
RIPPLE KIDS EDUCATIONAL SERVICES, INC.

取締役

代表取締役社長	中村 岳
取締役副社長	藤田 利之
取締役	安永 成志
社外取締役	君和田 卓之
社外取締役	三原 宇雄*
社外取締役	成松 淳*
社外取締役	五十嵐 幹*

(*監査等委員)



累積無料会員**60万人**以上の
オンラインのマンツーマン英会話レッスン
開講時間は**早朝6時～深夜1時**
採用率**1%**のフィリピン人講師**4,000名**

主な提供サービス一覧

個人

法人

教育機関

レアジョブ英会話



- ・日常英会話コース
- ・ビジネス英会話コース
- ・中学・高校生コース

スピーキングテスト

学習カウンセリング



レアジョブ本気塾



短期集中で
成果を伸ばす
英会話プログラム



RareJob Apps

英語学習アプリ



オフラインセッション

講師派遣の
ブレンディッド



研修担当者向けオプション

リップルキッズパーク



子ども専門オンライン英会話

レアジョブ英会話留学

成果を出すことにこだわった
海外留学プログラム

授業・講座などの
一斉導入

授業内で
マンツーマンレッスン



留学プログラムなどの
個別利用

課外での
レッスン受講

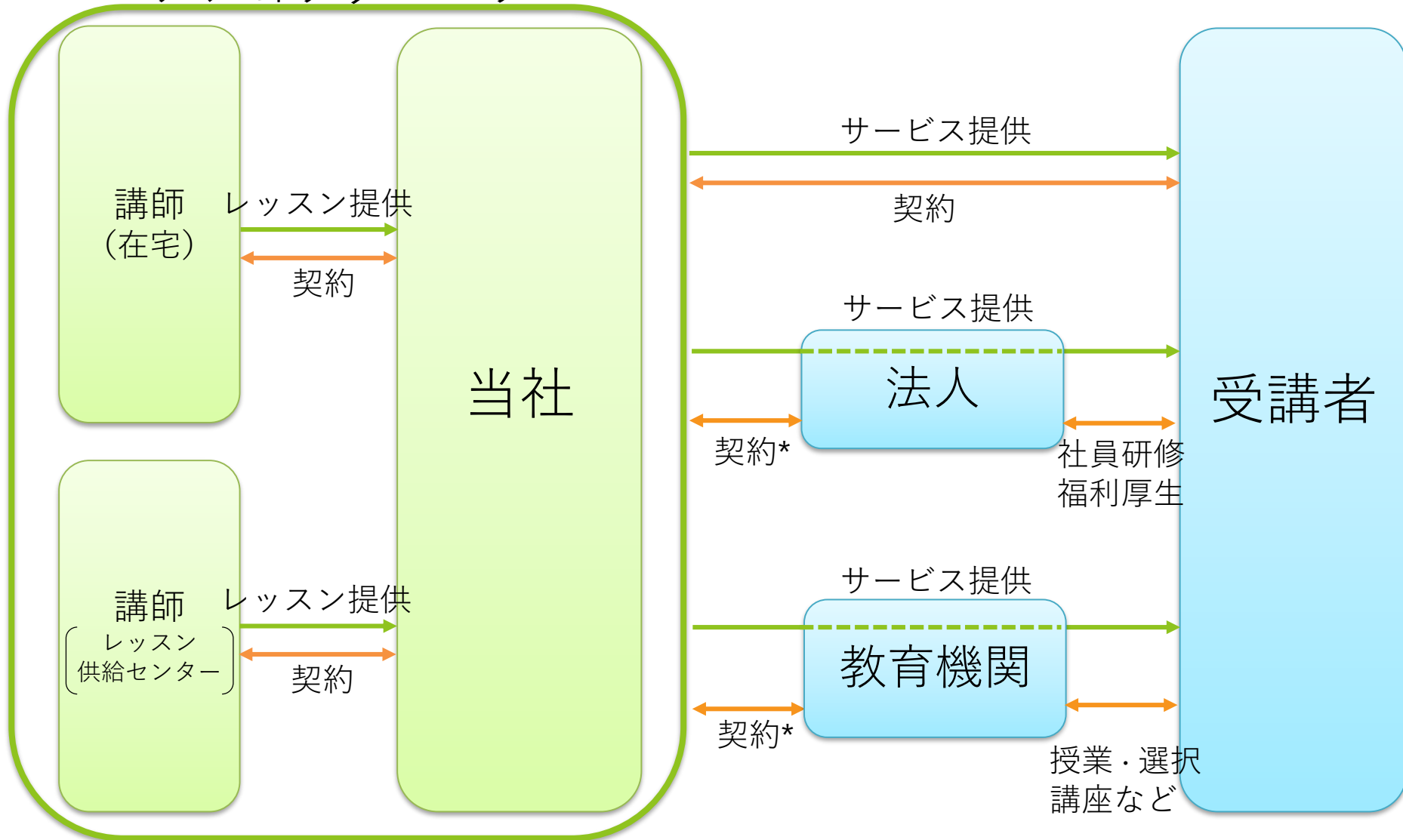


4技能に対応した
学校専用の豊富な教材



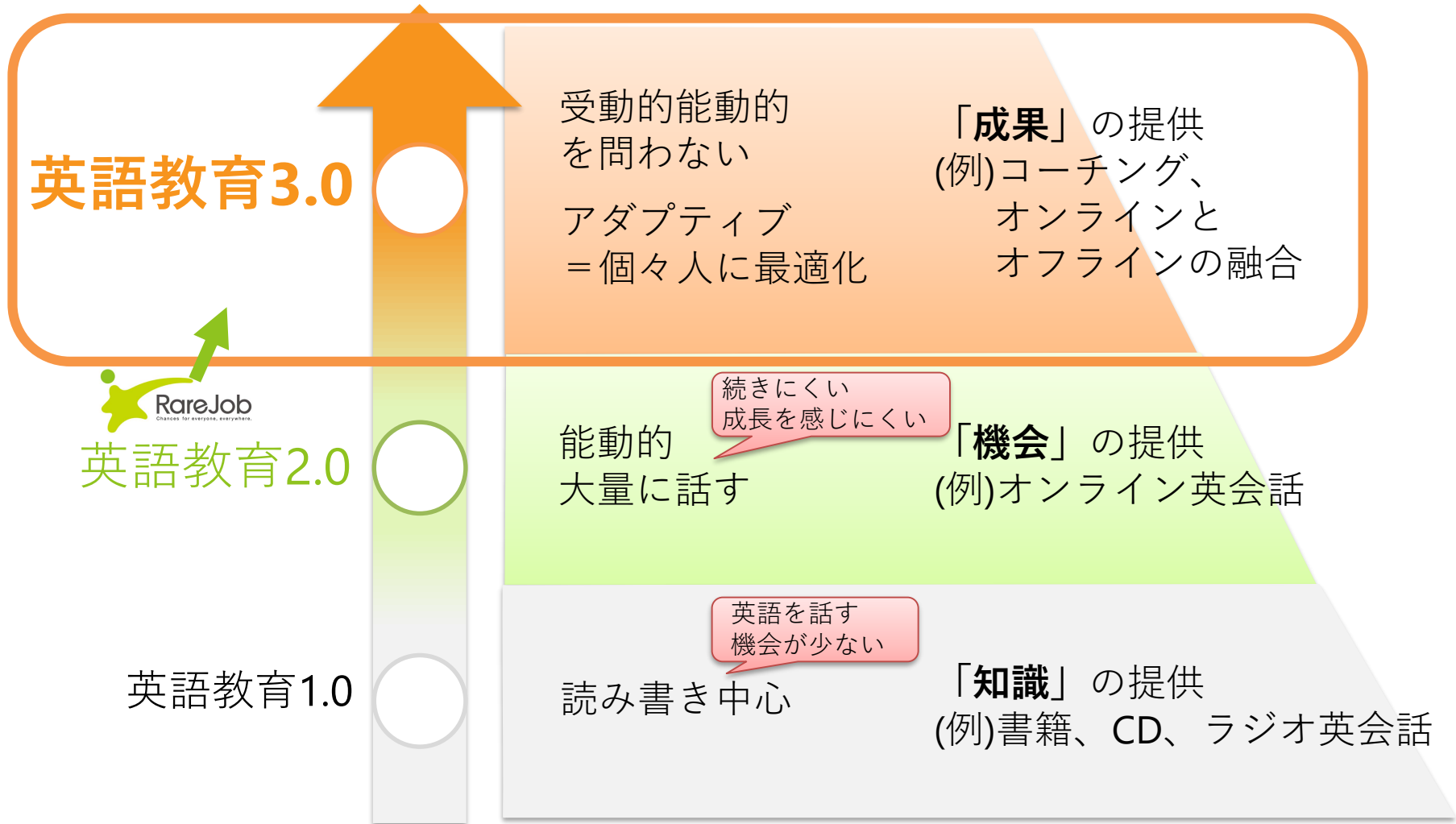
ビジネスモデル全体像

レアジョブグループ



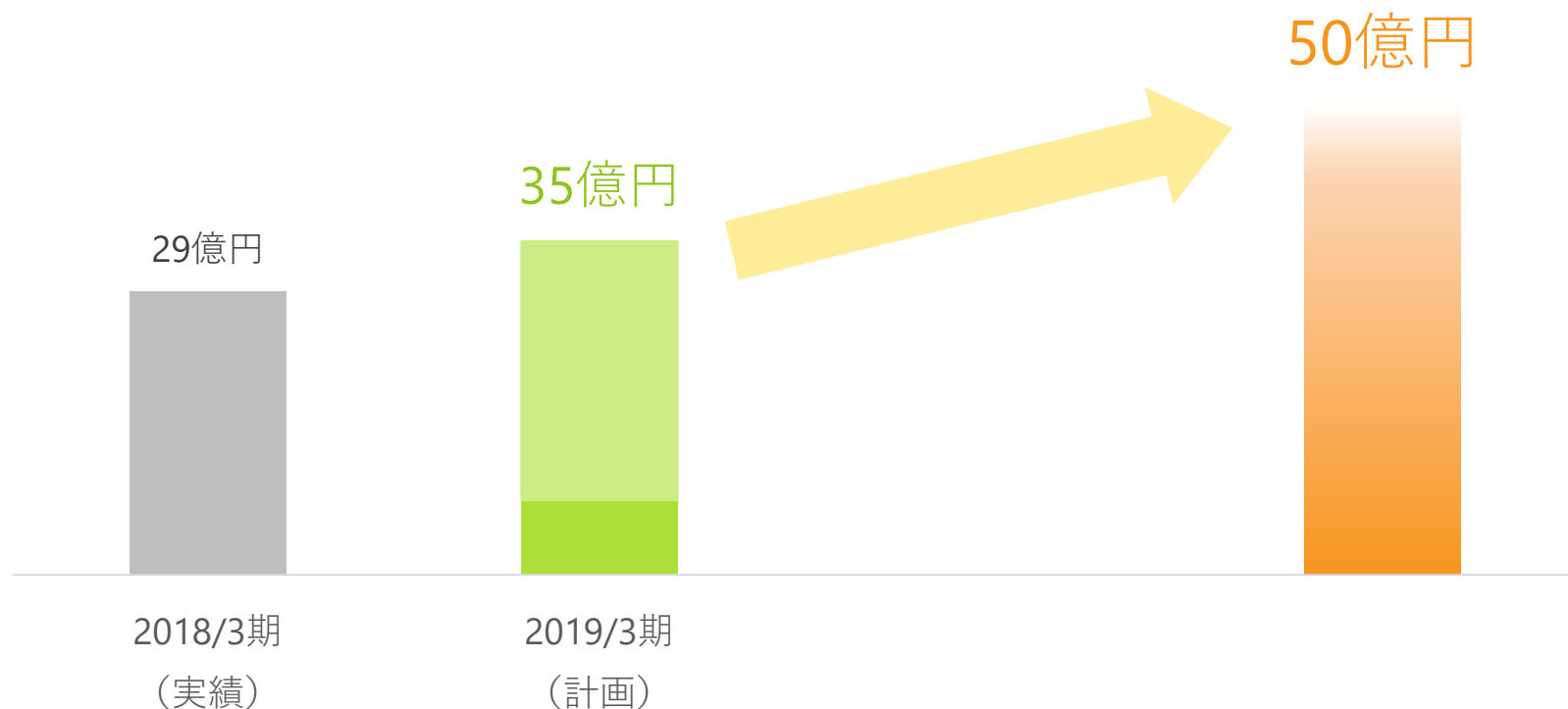
*当社と受講者が直接契約を結ぶ場合もある

誰もが英語を話せるようになる「英語教育3.0」



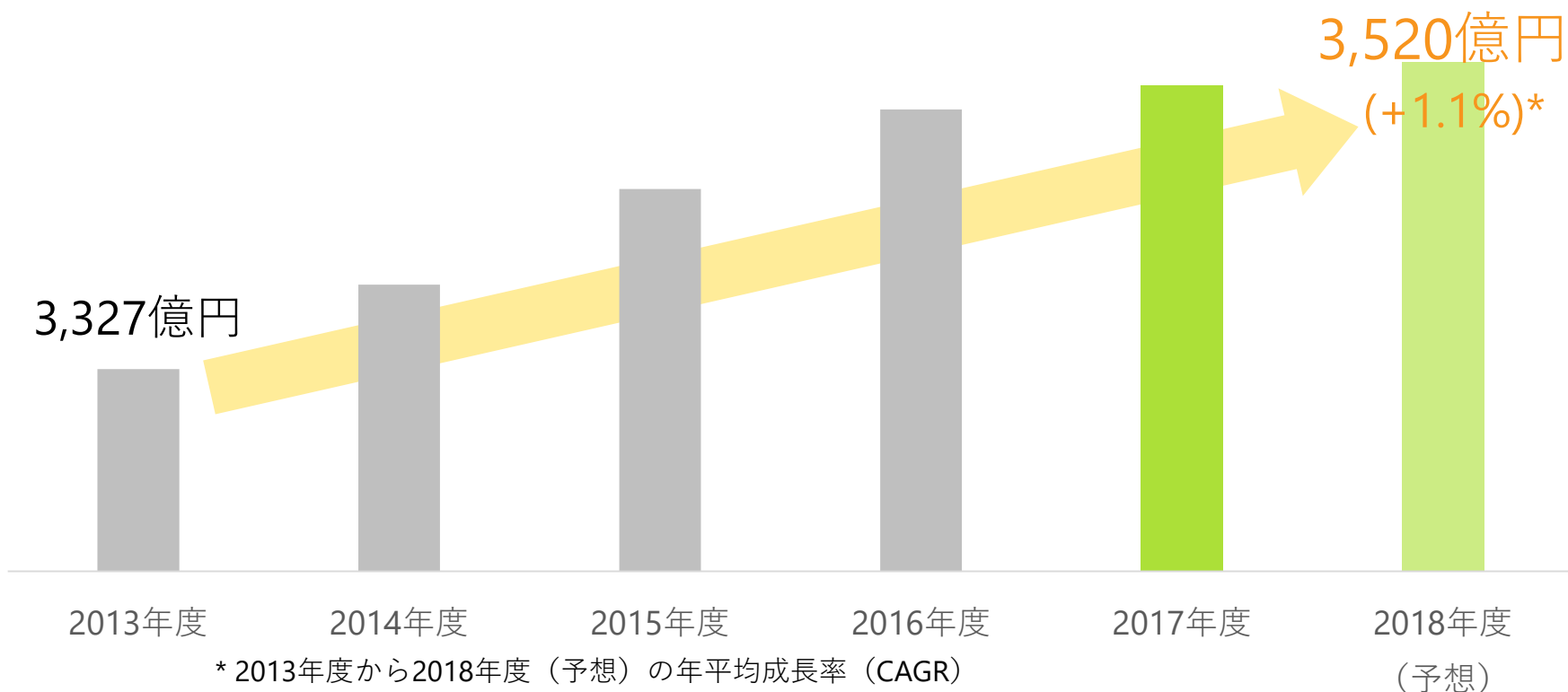
早期の連結売上高50億円の実現へ

- 品質向上や英語教育3.0の実現に向けたサービスの研究・開発に取り組み、その結果として、連結売上高50億円の実現へ
- 上記の取り組みや、研究・開発したサービスを安定的に提供するための事業体制及び販売拡大のための営業体制の構築を早期化するため、中期的には積極的な投資を継続



英語学習ニーズは拡大

- グローバル化の進展や、訪日外国人観光客数の増加、学校における英語教育の変化等により、外国語教室の市場規模は拡大
英語学習ニーズは高まっている状況

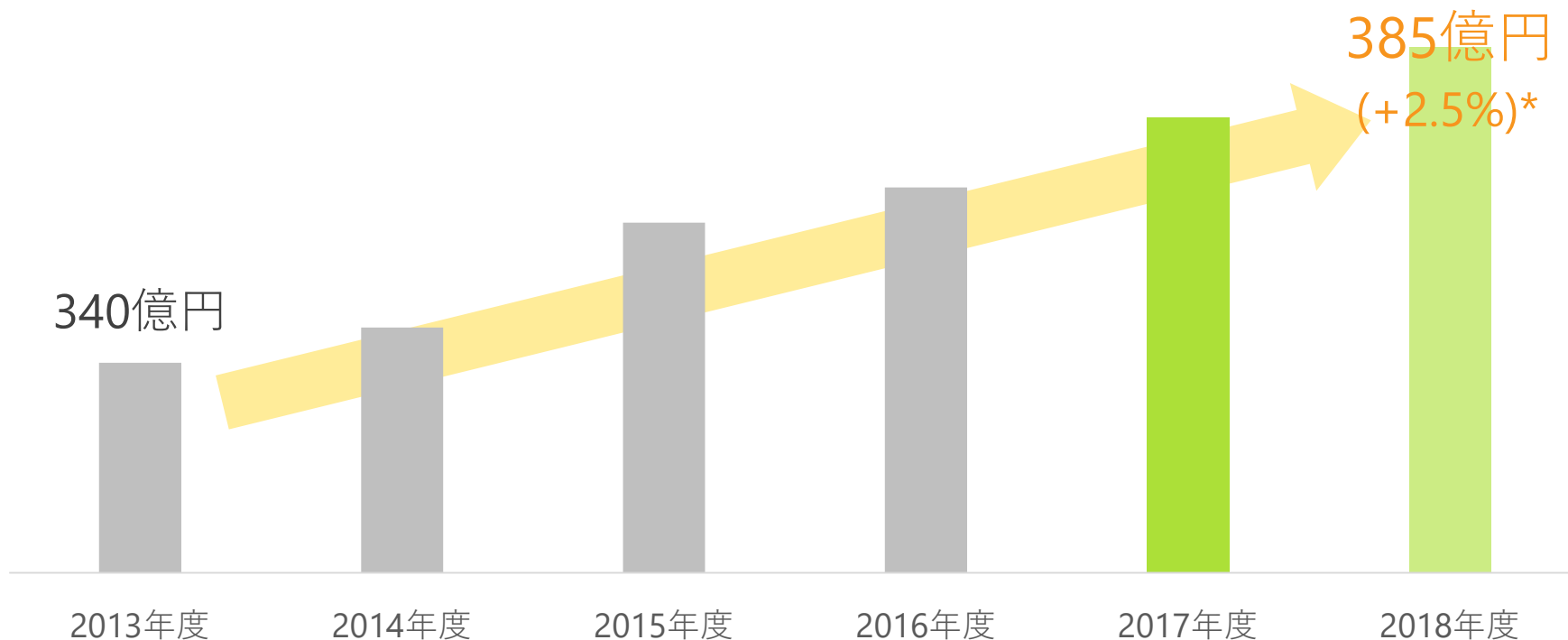


* 2013年度から2018年度 (予想) の年平均成長率 (CAGR)

出典：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2018」
外国語教室全体市場

マンツーマンレッスンは 外国語教室全体の市場と比べ、より拡大

- マンツーマン形態の外国語教室の市場規模の年平均成長率は+2.5%と、外国語教室全体の+1.1%と比べ拡大幅は大きい*



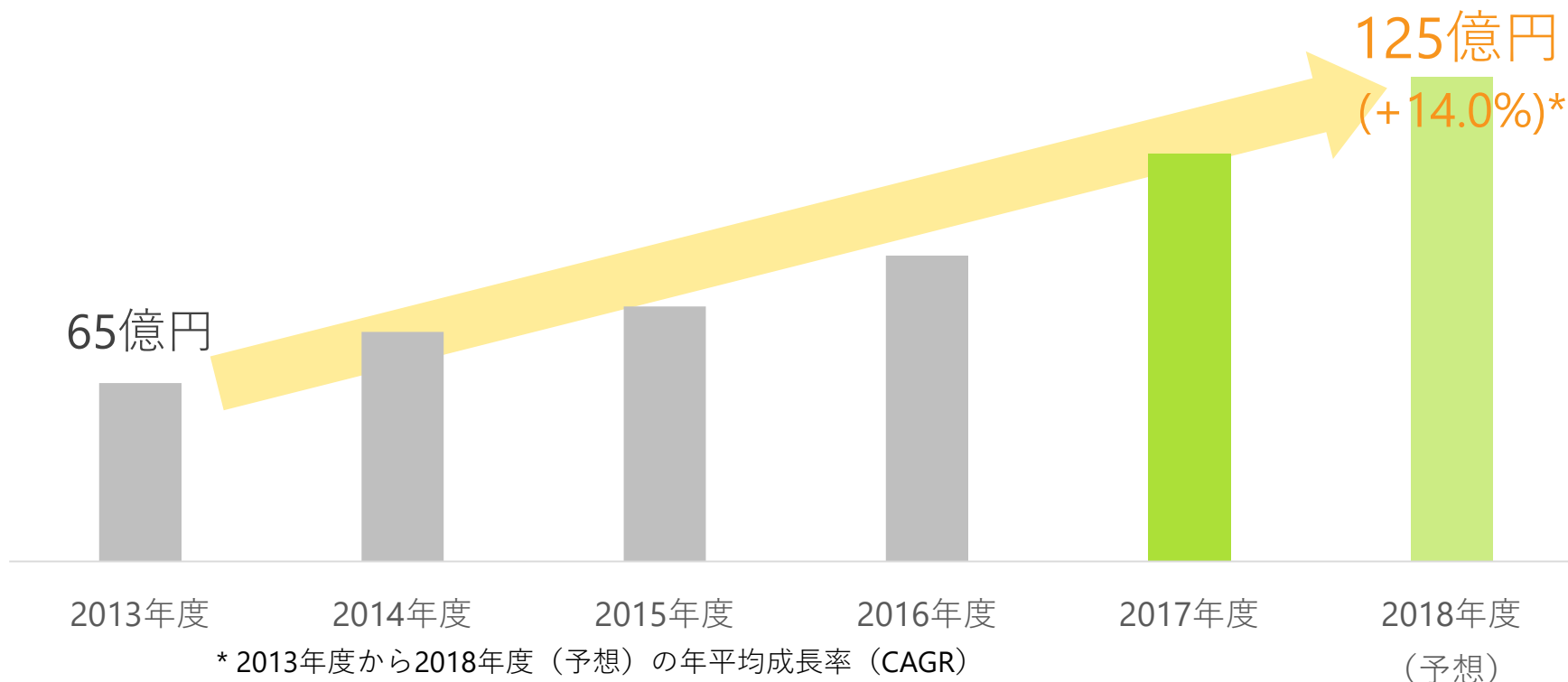
* 2013年度から2018年度 (予想) の年平均成長率 (CAGR)

出典：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2018」

成人向け外国語教室市場のうち、マンツーマンレッスン市場

当社を含むオンライン英会話が大部分を占める e-learning市場は一層拡大

- 当社を含むオンライン英会話が大部分を占めるe-learning市場の市場規模の年平均成長率は+14.0%と、外国語教室全体の+1.1%と比べ拡大幅は大きい*



* 2013年度から2018年度 (予想) の年平均成長率 (CAGR)

出典：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2018」
e-learning市場

学校における英語教育は2020年から大きく変化

- 学習指導要領の改訂により、学校における英語教育は大きく変化
- 大学受験だけでなく一部高校入試等においてもスピーキングテストを行う方針であることが報じられるなど、教育現場は対応を迫られる状況

現在

2020年～
(段階的に2018年～)

小学校

5・6年生から外国語活動必修
(週1コマ)



3・4年生から外国語活動必修 (週1コマ)
5・6年生から英語の「教科化」 (週2コマ)

中学校

4技能*の総合的育成



授業は英語で行うことを基本とし、
内容に踏み込んだ言語活動を重視

高校

授業は英語で行うことを基本



授業を英語で行うとともに、
発表・討論・交渉など言語活動を高度化

大学
入試

センター試験など
(リーディング、リスニング)



大学入学共通テスト
英検やTOEFLなどの外部検定試験等の活用
(スピーキングを含めた4技能を測定)

*4技能とは、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能のこと
文部科学省「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」などから作成

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社レアジョブ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社レアジョブ IR担当

TEL : (03) 5468-7401

MAIL : ir@rarejob.co.jp